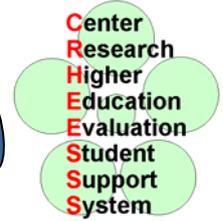


週刊センターニュース No.194



第194号(2008年2月11日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

第5回大学教育セミナー「学生支援をどう評価するか - 今、大学教育に問われているもの - 」報告

2月3日(日)に金沢大学サテライト・プラザで開催された、金沢大学大学教育開発・支援センター主催第5回大学教育セミナー「学生支援をどう評価するか - 今、大学教育に問われているもの - 」について簡単に報告させていただく。本セミナーは毎年高等教育関連のトピックを取り上げて開催されているものであり、今年で5回目となる。

今回は、科学研究費補助金を得て進めている調査研究:「大学評価指標における学生支援の位置付けに関する実証的研究」(基盤(c)課題番号18611004)の成果報告の一環をなすものとして開催された。その趣旨は、全高等教育機関(大学・短期大学・高等専門学校)におけるFD(「授業内容・方法改善のための研修・研究」)の法的義務化、「学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される優れたプログラム」を選定する、いわゆる「学生支援GP」開始といった環境の中、大学教育の基盤である学生支援力が評価される時代に入ったことを踏まえ、「学習主体としての学生に対する支援」を中心とした学生支援の位置づけの現状とその課題を明らかにしようとするものである。詳細については、以下のURLを参考にいただきたい。

http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/seminar20080203.pdf

第一部では、河田悌一氏(関西大学学長)による「学生支援はどうあるべきか - 関西大学現代GPの事例を踏まえて -」、藤川麗氏(駒沢女子大学専任講師・カウンセラー)による「学生相談の”成果”を捉え直す - コラボレーションによる評価の可能性 -」の講演が行われ、第二部では金沢大学学生支援GPの説明を交えて、学生支援の全体的な位置づけについてのシンポジウムが行われた。

河田氏は、関西大学で採択されている数々のGPについて紹介しながら、大学教育、学生支援における「教職協働(教員と職員が問題意識を共有して協力して活動する)」の重要性を強調された。藤川氏は、学生相談を切り口に、組織レベルでの活動の重要性およびその教育改善効果について述べられ、学生支援は、個々の教員だけ、窓口の職員だけ、カウンセラーだけが行うものではなく、それらの活動のコラボレーションとして大学全体が組織的に取り組むべきものである点を指摘された。

シンポジウムでは、大学における学生支援活動の法的位置付け、FD義務化と学習支援・学生支援の関係、金沢大学学生支援GPで目指すもの、学生支援活動の評価などについての報告の後、学生を一人の自立した人間として成長させるための学生支援活動のあり方、これからの学生支援活動においては、「どんな学生支援を」だけでなく「どのように学生支援を」という点が重要であることなどについて、シンポジストだけでなくフロアを交えての活発な議論が展開された。

最後に、本セミナーには、広島大学を始めとして33の高等教育機関関係者に参加していただいた。

この場を借りてお礼を述べさせていただく。 (文責 教育支援システム研究部門 堀井祐介)

「FD 開発・実践開発シリーズ」について

当センターでは、平成20年度からのFD義務化に備え、FD開発・実践開発シリーズとして共同学習会を開催しております。FDって何? 何のために? という素朴な議論にも具体的に答えるシリーズです。是非ご参加ください。また、ご希望のテーマがありましたら、遠慮なく、お申し出ください。可能な限り、ご希望に即した企画を試みます。

センターからのお願い

センターニュースで取り上げてほしいテーマを募集します。また、センターニュースを読んでのご感想や、当センターへのご要望などをメールにてお寄せください。

さらにセンターでは、共同学習会の話題提供、ランチョンセミナー担当も随時募集しておりますのでご連絡ください。info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp までお願いいたします。

高等教育に関連する研究会・セミナー情報

- ・2月21日(木)13:30~15:00「国際連携プロジェクト」第11回テーマ別研修 ワークショップ
授業用リモコン「クリッカー」の使い方を考える-学生と教員の双方に対して有意義な授業を目指して-(東北大学高等教育開発推進センター)

会場：東北大学川内北キャンパスマルチメディア教育研究棟M206(仙台市青葉区川内41)

講師：中島平(大学教育情報学研究部准教授)

問合せ先：東北大学教育・学生支援部教務課分室鎌田

TEL:022-795-7551、e-mail: y.kamada@bureau.tohoku.ac.jp

詳細は、<http://www.he.tohoku.ac.jp/center/2008project/2008project11.pdf> を参照

- ・2月22日(金)13:30~16:30「成績評価方法の共通指針 - その背景と実際」(首都大学東京)

会場：南大沢キャンパス6号館101号室(東京都八王子市南大沢1-1)

プログラム：

基調講演 「成績評価の共通指針 ブラックボックスからの脱却に向けて」

大川一毅准教授(岩手大学評価室)

「基礎ゼミナールにおける成績評価方法」小林正典准教授

「都市教養プログラムにおける成績評価方法」宮台真司教授

「情報科目における成績評価方法」永井正洋教授

「都市教養学部理工学系における成績評価方法」伊與田正彦教授

「都市環境学部における成績評価方法」西村和夫教授

ディスカッション

問合せ先：首都大学東京FD委員会教務課教務係 電話 042-677-2395、e-mail: fd-tmu@jmj.tmu.ac.jp

詳細は、<http://www.comp.metro-u.ac.jp/FD/information/seminar080222.pdf> を参照